

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

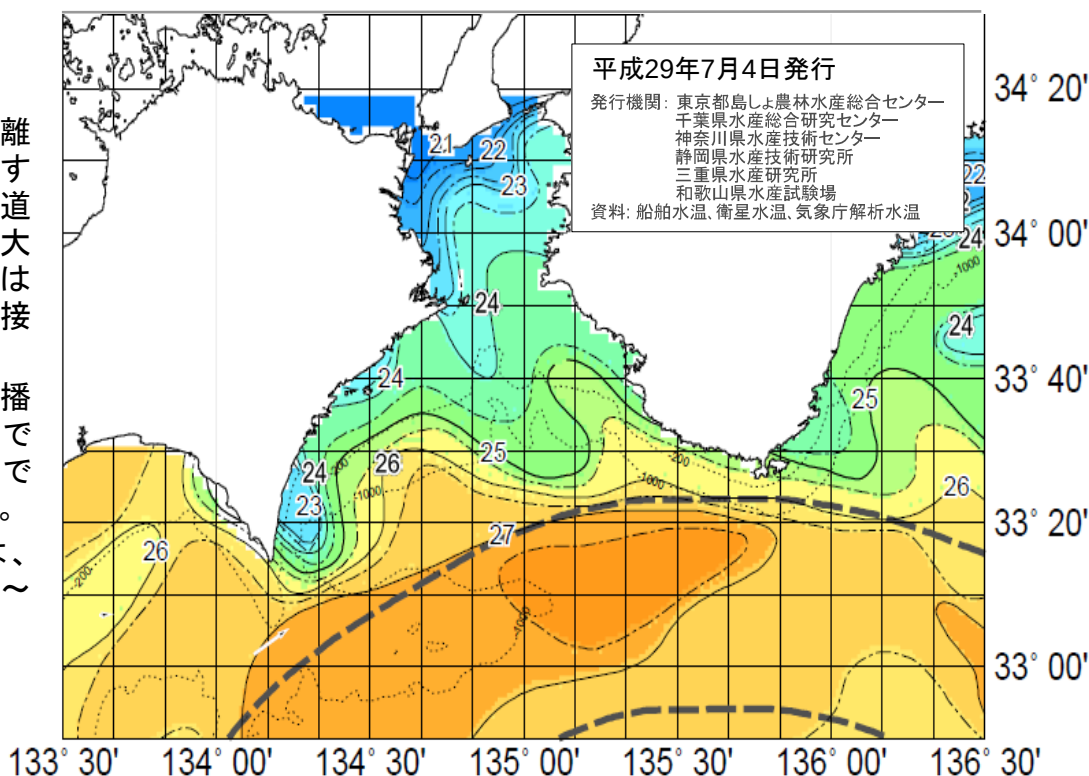
海況

1. 周辺海域の水温

黒潮は、九州沖で大きく離岸し室戸岬南南西で北進する形となっている。紀伊水道沖の流路は前号時点から大きく変わらず、室戸岬沖では「やや離岸」、潮岬沖では「接岸」状態を維持している。

徳島県沿岸の水温は、播磨灘で20℃台、紀伊水道で20℃～23℃台、海部沿岸で23℃～24℃台となっている。

黒潮本流の表面水温は、平年並みかやや高い26℃～27℃台となっている。

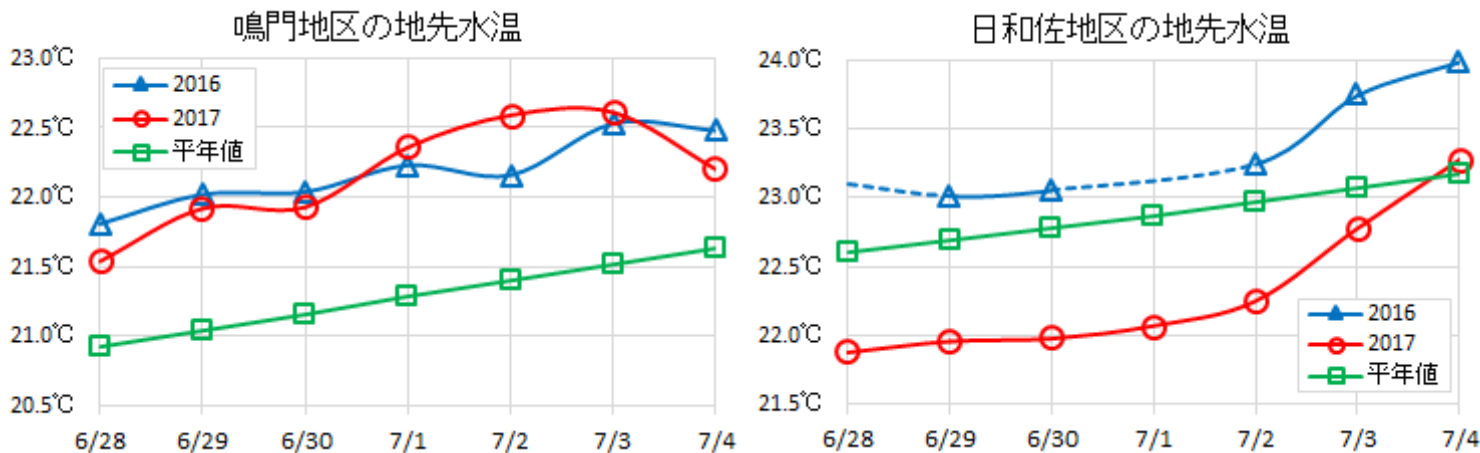


海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(6月28日～7月4日)

鳴門地区の地先水温は、「やや高め」の21.5℃～22.6℃で推移した。

日和佐地区の地先水温は、7月2日まで「やや低め」の22℃付近でほぼ横ばいで推移していたが、その後「平年並み」の22.8℃～23.3℃で右肩上がりに推移した。



※水温の高低 平年並: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 鳴門地区: 1981年～2015年の平滑平均値、日和佐地区: 1982年～2015年の平滑平均値

3. 週間予報(7月5日～7月11日)

黒潮は、室戸岬沖では「やや離岸」のち「著しく離岸」、潮岬沖では「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門では「やや高め」の22℃台、日和佐地区では「平年並み」～「やや高め」の23℃台で推移する見込み。

漁況 2017年6月26日～7月2日（旧暦閏5月3日～閏5月9日）

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

船びき網では、シラスが増えて311ト水揚げされた。
 釣りでは、タチウオが前週並みの0.5ト水揚げされた。
 延縄では、ハモが増えて9.0ト、タチウオが特大主体に大きく増えて1.8ト水揚げされた。
 小型定置網では、マアジが小小主体に前週並みの1.3ト水揚げされた。
 底びき網では、ハモが増えて4.8ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

延縄では、アカムツが増えて1.1ト水揚げされた。
 小型定置網では、ウルメイワシが5.1ト、マイワシが3.2ト水揚げされた。
 大型定置網では、マアジが小小主体に増えて16.2ト、いわし類がウルメイワシ主体に4.5ト、ブリがつばす主体に1.4ト水揚げされた。表にはないが、いわし類や小型のあじ類等を主体とする未選別の小魚が10.8ト水揚げされている。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	135	シラス	310,500	2,300		↗
		35	タチウオ	454	13		→
	延縄	109	ハモ	9,031	83		↗
		96	タチウオ	1,782	19	特大主体	↗↗
		32	ゴマサバ	496	16	大主体	↗↗
		28	えそ類	244	9		↗↗
	小型定置網	33	マアジ	1,309	40	小小主体	→
		33	カワハギ	267	8	大主体	↘
		15	ハマフエフキ	207	14	大主体	→
	底びき網	56	ハモ	4,814	86		↗
		39	えそ類	482	12		↘↘
		38	タチウオ	244	6		↗
		33	いとより類	213	6		↗↗
海部沿岸	延縄	45	アカムツ	1,145	25		↗
	小型定置網	36	ウルメイワシ	5,092	141		↗↗
		23	マイワシ	3,163	138		↗↗
		36	マアジ	876	24		→
		27	かます類	779	29	小小主体	↗↗
		6	カタクチイワシ	544	91		↗↗
		31	ケンサキイカ	410	13		↗↗
	大型定置網	6	マアジ	16,174	2,696	小小主体	↗↗
			いわし類	4,542	757	ウルメイワシ主体	↗↗
			ブリ	1,361	227	つばす主体	↗↗
			とびうお類	469	78	大主体	↗↗
		ケンサキイカ	378	63	小小主体	↗	
		スルメイカ	376	63	小小主体	↗	
		マルアジ	357	60	小小主体	→	
	さば類	243	40	小小主体	↗↗		

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘